



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 株式会社エムケイシステム 上場取引所 東
コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 三宅 登
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理統括（氏名） 竹本 清志 TEL 06-7222-3394
半期報告書提出予定日 2024年11月6日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,506	34.8	△125	—	△133	—	△134	—
2024年3月期中間期	1,117	△16.3	△342	—	△345	—	△595	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △135百万円（—%） 2024年3月期中間期 △595百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△24.82	—
2024年3月期中間期	△109.70	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年3月期中間期	2,255	—	658	—	28.9
2024年3月期	2,558	—	816	—	31.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 651百万円 2024年3月期 807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,240	22.7	107	—	109	—	73	—	13.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	5,428,000株	2024年3月期	5,428,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	506株	2024年3月期	506株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	5,427,494株	2024年3月期中間期	5,427,494株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当中間期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	8
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費は一部足踏みが残るものの持ち直しの動きがみられ、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しの動きがみられるなど、緩やかに回復の兆しが見えています。しかしながら、欧米における高い金利水準の継続や中国経済の停滞、中東情勢の緊迫化など、依然として先行きの不透明な状況が続いており、引き続き海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっています。

国内の情報サービス業界及び当社グループの関連する人事労務領域においては、生成AI技術の活用やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による業務効率化、コスト競争力の強化など、企業のIT投資需要に持ち直しの動きがみられるものの、引き続き海外景気の不透明さなどによる国内景気の下振れリスクもあり、今後のIT投資動向への影響が懸念される状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは、前期に発生したランサムウェアによる不正アクセス事案への対応を進める一方、主力製品である社労夢(Shalom)シリーズの新製品である社労夢FOREVERをリリースし、顧客の業務効率化並びに付加価値創造を支援し、顧客満足度をより一層高めるべく努めてまいりました。しかしながら、前期に構築したクラウドサービスの運用コストが、システム開発の遅れや円安の進行に伴い増加しており、引き続き原価低減への対応に注力していく必要があります。

この結果、当中間連結会計期間における業績は売上高1,506,432千円(前年同期比34.8%増)、売上総利益540,264千円(前年同期比131.8%増)、営業損失125,029千円(前年同期は342,035千円の営業損失)、経常損失133,777千円(前年同期は345,050千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失134,686千円(前年同期は595,413千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率(ROE)は、連結ベースで△18.5%(前年同期は△49.6%)、当社単体では△7.0%(前年同期は△40.5%)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(社労夢事業)

社労夢事業は、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合及び一般法人における、社会保険、労働保険、給与計算等の手続きをサポートする業務支援ソフトウェアを提供しております。主力製品である社労夢(Shalom)シリーズをはじめ、マイナンバー管理システムの「マイナボックス」、WEB年末調整システム「eNEN」などのクラウドサービスで主に構成されます。

働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっている一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

社労夢事業では、新製品である社労夢FOREVERをリリースしたことなどにより、前年同期に比べて増収となったものの、クラウドサービスの運用コストや顧客サポート費用の増加に伴い、営業損失を計上することとなりました。

売上高の内訳としましては、クラウドサービス売上高が1,138,528千円(前年同期比42.7%増)となり、その内、ストック収益であるASPサービス売上高が1,104,771千円(前年同期比44.6%増)、システム構築サービス売上高が33,756千円(前年同期比0.5%減)となりました。システム商品販売売上高は37,544千円(前年同期比6.5%減)となりました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は1,180,110千円(前年同期比39.6%増)となり、売上総利益は491,441千円(前年同期比201.1%増)、営業損失は62,662千円(前年同期は318,600千円の営業損失)となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は△5.3%(前年同期は△37.7%)となりました。

(CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービス「GooodN」の提供を行っております。

フロントシステムの受託開発においては、顧客となる大企業や自治体などからの新たな開発案件の受注が順調に積み上がりました。クラウドサービス「GooodN」においては、機能強化及び販売ルートの開拓に努めました。

コスト面においては、原価コスト等の削減に引き続き取り組んでおりますが、先行して外注費等が発生したため営業損失を計上することとなりました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は331,813千円(前年同期比17.9%増)、売上総利益は49,417千円(前年同期比30.4%減)、営業損失は68,458千円(前年同期は33,384千円の営業損失)となりました。なお、CuBe事業の営業損

失については、のれん償却額19,411千円を反映しております。

(2) 財政状態に関する説明

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較し206,546千円減少し、505,233千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は131,944千円(前年同期は407,710千円の使用)となりました。主な増加要因は、減価償却費177,687千円、未払金の増加61,454千円、主な減少要因は、税金等調整前中間純損失133,777千円、法人税等の支払15,079千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は164,696千円(前年同期は146,183千円の使用)となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出155,070千円、有形固定資産の取得による支出9,626千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は173,794千円(前年同期は671,166千円の獲得)となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出152,214千円、配当金の支払21,580千円などによるものであります。

資本の財源及び資金の流動性

当社グループの資金需要につきましては、原則、営業キャッシュ・フローで得られた資金から、設備投資、借入金の返済などを実施しており、自己資金により流動性を確保する方針であります。必要に応じ、運転資金や大規模な設備投資について、金融機関からの借入で賄う予定であります。

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ243,809千円減少し、1,193,298千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少206,546千円、仕掛品の減少13,387千円によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ59,120千円減少し、1,061,832千円となりました。主な要因は、ソフトウェアの増加138,104千円、ソフトウェア仮勘定の減少174,551千円、のれんの減少19,411千円によるものであります。

以上の結果、総資産の残高は前連結会計年度末に比べ302,929千円減少し、2,255,131千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2,871千円増加し、1,013,041千円となりました。主な要因は、未払金の増加35,729千円、未払消費税等の増加17,490千円、前受金の減少15,897千円、未払費用の減少10,784千円によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ148,126千円減少し、583,620千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少152,214千円によるものであります。

以上の結果、負債の残高は前連結会計年度末に比べ145,255千円減少し、1,596,662千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における株主資本は、前連結会計年度末に比べ156,396千円減少し、651,310千円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少156,396千円によるものであります。

以上の結果、純資産の残高は前連結会計年度末に比べ157,674千円減少し、658,468千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月7日に公表した「2024年3月期決算短信[日本基準](連結)」に記載しております連結業績予想から変更はありません。

今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,780	505,233
売掛金	564,670	563,111
商品	7,912	8,424
仕掛品	91,442	78,054
貯蔵品	430	443
前払費用	39,879	36,831
その他	20,991	1,200
流動資産合計	1,437,107	1,193,298
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	101,089	101,276
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	25,678	23,336
有形固定資産合計	126,767	124,612
無形固定資産		
ソフトウェア	485,536	623,640
ソフトウェア仮勘定	244,876	70,325
商標権	625	510
電話加入権	1,218	1,218
のれん	97,056	77,644
無形固定資産合計	829,312	773,339
投資その他の資産		
出資金	60	60
差入保証金	157,246	157,246
繰延税金資産	6,390	5,397
その他	1,176	1,176
投資その他の資産合計	164,872	163,880
固定資産合計	1,120,953	1,061,832
資産合計	2,558,060	2,255,131

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,683	55,055
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	304,428	304,428
未払金	125,355	161,084
未払費用	24,855	14,070
未払法人税等	16,151	5,940
未払消費税等	14,142	31,632
前受金	88,133	72,235
賞与引当金	63,169	57,857
その他	11,251	10,736
流動負債合計	1,010,170	1,013,041
固定負債		
長期借入金	722,059	569,845
退職給付に係る負債	9,688	13,775
固定負債合計	731,747	583,620
負債合計	1,741,917	1,596,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	386,973	230,577
自己株式	△499	△499
株主資本合計	807,706	651,310
非支配株主持分	8,436	7,157
純資産合計	816,143	658,468
負債純資産合計	2,558,060	2,255,131

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,117,759	1,506,432
売上原価	884,675	966,168
売上総利益	233,083	540,264
販売費及び一般管理費	575,119	665,293
営業損失(△)	△342,035	△125,029
営業外収益		
受取利息	2	45
受取配当金	1	1
受取賃貸料	20,272	20,046
業務受託料	3,000	1,800
その他	22	2,095
営業外収益合計	23,297	23,987
営業外費用		
支払利息	2,043	4,565
賃貸収入原価	18,269	18,120
支払手数料	6,000	—
雑損失	—	9,429
その他	—	621
営業外費用合計	26,312	32,735
経常損失(△)	△345,050	△133,777
特別損失		
固定資産除却損	125,934	—
システム障害対応費用	125,275	—
特別損失合計	251,209	—
税金等調整前中間純損失(△)	△596,260	△133,777
法人税、住民税及び事業税	1,194	1,194
法人税等調整額	△1,657	992
法人税等合計	△463	2,186
中間純損失(△)	△595,796	△135,964
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△383	△1,278
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△595,413	△134,686

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△595,796	△135,964
中間包括利益	△595,796	△135,964
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△595,413	△134,686
非支配株主に係る中間包括利益	△383	△1,278

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△596,260	△133,777
減価償却費	177,620	177,687
のれん償却額	19,654	19,411
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,182	4,087
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,723	△5,311
受取利息及び受取配当金	△3	△46
支払利息	2,043	4,565
有形固定資産除却損	125,934	—
売上債権の増減額(△は増加)	20,064	1,559
棚卸資産の増減額(△は増加)	5,062	12,862
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,630	△7,628
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,266	37,562
未払金の増減額(△は減少)	59,779	61,454
その他	△107,309	△20,884
小計	△336,404	151,542
利息及び配当金の受取額	3	46
利息の支払額	△2,043	△4,565
法人税等の支払額	△69,265	△15,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	△407,710	131,944
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,015	△9,626
無形固定資産の取得による支出	△119,243	△155,070
敷金及び保証金の回収による収入	7,076	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,183	△164,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	—
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△85,592	△152,214
配当金の支払額	△43,241	△21,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	671,166	△173,794
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	117,272	△206,546
現金及び現金同等物の期首残高	609,336	711,780
現金及び現金同等物の中間期末残高	726,608	505,233

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	843,424	274,335	1,117,759	—	1,117,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,752	7,062	8,814	△8,814	—
計	845,176	281,397	1,126,573	△8,814	1,117,759
セグメント損失(△)	△318,600	△33,384	△351,985	9,949	△342,035

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,179,381	327,051	1,506,432	—	1,506,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	729	4,762	5,491	△5,491	—
計	1,180,110	331,813	1,511,923	△5,491	1,506,432
セグメント損失(△)	△62,662	△68,458	△131,120	6,091	△125,029

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。